

海外事務所 主な活動報告（令和 6 年 11 月）

《ワシントン州事務所》

米国での日本食普及を行う日本食文化振興協会が主催する第 17 回「JAPANESE FOOD EXPO 2024」が開催され、米国での県産品の販路拡大を目指し、ひょうごの美味し風土拡大協議会（事務局：県流通戦略課）が初めて出展した。当事務所は、ブース運営、主催者との連絡調整、訪問先のアレンジ等を支援した。

本イベントは第 1 部が業界関係者、第 2 部と第 3 部が一般消費者（有料）を対象とした部構成で、会場では日本の食品メーカーや現地の日本食専門商社等による約 80 ブースで試食が提供された。

本県のブースでは 4 事業者が出展し、各事業者の製品を試食として提供し、いずれも大変好評であり、手応えを感じた事業者もいた。

米国では、日本の食品に対する関心が高まってきており、日本食レストランの数も増加するなど有望な市場といえる。今後も関係機関と連携しながら、県産品の販路拡大に係る取組を支援していきたい。

＜ジャパニーズ・フードエキスポ 2024＞

- 日 程 2024 (R6) 年 11 月 2 日 (土)
- 場 所 ロウズ ハリウッド ホテル
(カリフォルニア州ロサンゼルス市内)
- 参加者 流通関係者、一般消費者等約 2,500 名



兵庫県ブースの様子

《パリ事務所》

(一財)自治体国際化協会パリ事務所が、毎年パリで開催している日本の伝統工芸品の展示販売会「伝統と先端と」展の開会イベントにおいて、兵庫県の観光 PR と兵庫の酒の試飲を兼ねたブースを出展し、来場者へ兵庫の酒の試飲と併せて酒蔵ツーリズム等を PR し、来県を促した。

伝統工芸品の展示販売会は、淡路市より淡路線香が出展した。

＜第12回「伝統と先端と」展の開会レセプションへの出展＞

- 日 程 2024 (R6) 年 11 月 7 日 (木)
- 場 所 パリ日本文化会館
- 出展数 全国 22 の自治体による伝統工芸品の出展
- 参加者 在仏日本関係者約 200 人
(うち、兵庫県ブースへの来訪者約 100 人)



淡路線香の展示・販売の様子

《香港経済交流事務所》

JNTO が主催する世界最大規模の訪日旅行博であるタイ・バンコクでの FIT フェア (Visit Japan FIT Fair) に、神戸観光局、姫路観光コンベンションビューローと当事務所による、間仕切りのない一体的なデザインの兵庫連携ブースを出展し、県内の多彩な魅力を線で繋ぎ発信する本県観光プロモーションを実施した。

HYOGO エリアでは、ひょうごフィールドパビリオンを県所管課が紹介し、CLAIR シンガポール事務所の本県派遣職員もブース運営に加勢した。また、ひょうご観光本部とも連携し、同本部会員団体を主対象に兵庫観光のさらなる振興に向けて県ブースでの PR を希望するパンフレット等を公募し現地での PR に努めた。

既に旅行の計画がある多くの方が県ブースを相談窓口のような感覚で訪れ、目的地への経路上あるいは近辺の観光地情報、スマホでの予約方法、行き方等の具体を質問され、現地スタッフや通訳が足りずに順番待ちとなる場面が頻発した。そうした時間も活用し3者がワンストップで県内の観光情報を幅広く発信することで、来場者への訴求を強化することができた。

<タイ・バンコク FIT フェアへの出展>

○日 程 2024 (R6) 年 11 月 8 日 (金) ~10 日 (日)

○場 所 サイアム・パラゴン (バンコク市内)

○出 展 数 108 団体 (日本側：地方自治体等 67 団体、
タイ側：旅行会社等 41 団体)

○参 加 者 約 6 万 2 千人

(うち、兵庫県ブースへの来訪者数推計約 3 千人)



神戸・姫路・兵庫の連携ブース